

1: 出席者

加藤^a・大西^b・岡部・千葉・能登・内藤^c・勝間^c・吉尾^c・須田^c・合川^{c,d}・吉田^c

(^a:委員長, ^b:議長, ^c:オブザーバー, ^d:書記)

2: 報告

- 2/16 に北大で総合核データ利用システムの打ち合わせ、2/19 に東京で特別会計全体会議が行われた。
(加藤、内藤、須田、勝間)
- 検索・表示システムの試用版を原子力研究所のサーバに移植する。(加藤)
- B. Giraud 氏が来札され、およそ 1 ヶ月間滞在される予定である。(加藤)
- IAEA から依頼があった 17 編の論文の採録作業を行う。(吉田)
- 国産同位体生成についての文献調査を行い、12 編の採録対象論文が見つかった。(大塚、吉田)
- 2/16 の VBL 懇談会で発表を行った。(勝間)

3: 議論

- D1594 でのデータ採録方法について
論文中では Rutherford Ratio、著者提供のデータでは微分断面積だった場合に、両者を別々のデータとして採録する。
- 読み取り可能なデータがない論文について
今回 IAEA から依頼があった論文に関しては特別に採録を行い、NRDF にも変換する。
- 研究機関刊行の年次報告に発表された論文の取り扱いについて
IAEA から依頼があった論文に関しては特別に採録を行う。
- レフェリーの分担について
およそ 60 編を 10 月の IAEA Center Meeting までに EXFOR に登録するため、問題がないと思われるデータとそれ以外について異なる対処を行う。
- 新規雑誌コードについて
以下のコードが新規に提案され、NRDF 用コードについて承認された。EXFOR 用コードは IAEA に提案する。

(NRDF)	(EXFOR)	
RI	RI	“Radioisotopes”
A-INS	A-INS-	“Univ. of Tokyo, Inst. for Nucl. Study, Annual Report”

- コードについて

以下のコードが新規に提案され、承認された。

ISOMER	(H)	Isomer
ISOMER	(W)	Isomer
ISOMR	(W)	(obsolete : use ISOMER)
UCI	(W)	Micro-Curie

UCI/UA/HOUR	(H)	u-Curie/uA/hour
TTY	(V.7)	Thick Target Yield
TTY	(H)	Thick Target Yield
DELTA-TTY	(H)	Error in Thick target yield
MULTPOL	(H)	Multipole
MB/SR/SR/MEV	(V.14)	(obsolete : use MB/SR**2/MEV)
MB/SR/SR	(V.14)	(obsolete : use MB/SR**2)
DELTA-DSIGMA	(H)	(obsolete : use DELTA-DSIGMA/DOMEGA/DOMEGA)
DSIGMA	(H)	(obsolete : use DSIGAM/DOMEGA/DOMEGA)

- 年次報告について

4/19 を締め切りとする。

4: 次回

2004年4月19日 18:30~